



CONTENTS

- 02 平成27年度レセプト点検調査結果
岩手県の財政効果額 約 6.1億円
被保険者一人当たり効果額 過去5年間で最高の1914円
- 04 29年度事業計画を決定
医療保険者間での連携を確認
平成28年度(第2回)岩手県保険者協議会
29年度保険者支援方法を協議
1保険者に助言も実施
平成28年度(第5回)岩手県国保連合会保健事業支援・評価委員会
- 05 収納金額 1億9900万円
今後も医療費適正化を支援
平成28年度第三者行為求償事務処理状況

- 06 「新・国保3%推進運動」の取り組み状況
- 07 平成29年度国保連合会事業予定
- 08 スムーズな本稼働を目指し
国保情報集約システム等に係る市町村国保担当者説明会
歯科研修会 一関市で7月開催予定
岩手県地域医療研究会「歯科部会」

今月の表紙
「展勝地さくらまつり」
北上市

暖かな日差しが降り注いだ4月22日、北上市の「展勝地さくらまつり」取材。
桜のトンネルとなった北上川沿い約2kmの桜並木は、訪れる人々を優しく迎え、川面には観光遊覧船や渡し船が往来し、約300匹のこいのぼりが空を泳いでいました。

平成27年度レセプト点検調査結果

岩手県の財政効果額 被保険者一人当たり効果額 過去5年間で最高の1914円

国保の医療費は、被保険者の高齢化や低所得者が多いことから、保険料負担が重いという構造的な問題などにより厳しい財政運営が続いている。保険者では医療費適正化対策のひとつである診療報酬明細書（レセプト）点検を積極的に実施し、国保財政の安定化に努めており、岩手県が取りまとめた平成27年度レセプト点検調査結果によると、本県の被保険者一人当たり財政効果額は、前年度から4円増えて1914円となった。また、本県全体の財政効果額は前年度を約3千万円下回り、約6億1千万円となっている。

診療報酬保険者負担総額 減少傾向続く

岩手県の27年度国保被保険者数は、被保険者数等の状況（表1）のとおり、32万1191人で前年度から1万4471人減少。被保険者数は近年1万数千人の規模で減少が続いている。また、本県から国保保険者（国保組合を含む）に送付されたレセプト件数も約540万件で前年度から約11万件減少し、近年減少傾向にある。

一方、診療報酬保険者負担総額では、27年度は約882億円となり、前年度から約6億円減少した。近年の状況と比較すると、23年度以降増加をたどったが、26年度から減少に転じている。

また、被保険者一人当たり金額は毎年増加し、27年度は27万4453円とな

り、前年度比較では9899円増加した。さらに、レセプト一件当たり金額も近年増加傾向にあり、27年度は211円増加の1万6359円となった。

このような中、保険者での資格点検は全件行われ、実施率は前年度同様100%となったほか、内容点検も前年度同様に100%の実施率を維持した。

レセプト点検効果総額は 横ばい傾向

次に、点検効果総額は前年度から2635万4846円減少の6億1475万9574円となり、前年度を下回る財政効果額となったが、近年では三番目に高い点検効果額となった。

27年度レセプト点検の財政効果額は財政効果等の状況（表2）のとおり、被保険者一人当たり1914円で前年

（表1）被保険者数等の状況

区分	①被保険者数 (人)	診療報酬保険者負担総額					資格点検		内容点検	
		②件数 (件)	③金額 (千円)	②/① 被保険者 1人当たり 件数	③/① 被保険者 1人当たり 金額 (円)	③/② レセプト 1件当たり 金額(円)	④件数 (件)	④/② 割合 (%)	⑤件数 (件)	⑤/② 割合 (%)
平成23年度	377,655	5,675,368	87,655,239	15.0	232,104	15,445	5,628,018	99.17	5,653,400	99.61
平成24年度	361,652	5,743,949	91,177,403	15.9	252,114	15,874	5,743,949	100.00	5,743,949	100.00
平成25年度	349,759	5,586,839	91,283,568	16.0	260,990	16,339	5,586,839	100.00	5,586,839	100.00
平成26年度	335,662	5,499,237	88,800,697	16.4	264,554	16,148	5,499,237	100.00	5,499,237	100.00
平成27年度	321,191	5,388,701	88,151,882	16.8	274,453	16,359	5,388,701	100.00	5,388,701	100.00

出典「岩手県健康国保課 平成27年度診療報酬明細書点検調査実施状況報告書」に基づき本会で作成

（表2）財政効果等の状況

区分	点検効果総額 (円)	被保険者1人当たり財政効果額			財政効果率 (%)
		過誤調整分 (円)	返納金等 調定分(円)	計(円)	
平成23年度	602,359,725	1,225	370	1,595	0.69
平成24年度	595,640,844	1,300	348	1,647	0.65
平成25年度	658,246,438	1,481	401	1,882	0.72
平成26年度	641,114,420	1,483	427	1,910	0.72
平成27年度	614,759,574	1,486	428	1,914	0.70

出典「岩手県健康国保課 平成27年度診療報酬明細書点検調査実施結果」に基づき本会で作成

度から4円増加。23年度以降の調査で最高

の財政効果額となったほか、財政効果率（保険者負担総額に対する過誤調整額の割合と返納金等調整額の割合の計）は前年度から横ばいの0.70%

となり、保険者の懸命な経営努力が反映された結果となった。

内訳は過誤調整分が3円増加の1486円、第三者行為求償などの返納金等調定分が1円増加の428円と

(表3) 診療報酬明細書点検調査実施結果

	平成27年度				平成26年度				平成25年度			
	被保険者1人当たり財政効果額			財政効果率 (%)	被保険者1人当たり財政効果額			財政効果率 (%)	被保険者1人当たり財政効果額			財政効果率 (%)
	過誤調整分 (円)	返納金等 調定分 (円)	計 (円)		過誤調整分 (円)	返納金等 調定分 (円)	計 (円)		過誤調整分 (円)	返納金等 調定分 (円)	計 (円)	
盛岡市	1,085	320	1,405	0.46	1,080	236	1,317	0.46	998	218	1,216	0.43
宮古市	1,182	105	1,287	0.41	1,095	282	1,377	0.48	1,063	868	1,931	0.67
大船渡市	4,661	896	5,557	1.78	8,847	392	9,239	3.08	4,212	890	5,102	1.74
奥州市	1,563	221	1,784	0.73	1,164	734	1,898	0.82	990	811	1,801	0.78
花巻市	1,043	388	1,431	0.55	792	419	1,211	0.48	937	565	1,501	0.61
北上市	898	672	1,571	0.64	2,359	855	3,214	1.37	1,191	438	1,630	0.71
久慈市	1,933	179	2,112	0.87	2,176	422	2,599	1.13	1,478	108	1,586	0.70
遠野市	1,341	2,613	3,954	1.42	938	59	997	0.38	734	337	1,072	0.44
一関市	1,460	236	1,695	0.69	941	327	1,267	0.55	910	198	1,108	0.42
陸前高田市	1,276	74	1,350	0.49	1,039	443	1,482	0.54	2,368	154	2,522	0.78
釜石市	1,549	117	1,665	0.52	1,402	816	2,218	0.60	1,803	223	2,026	0.87
二戸市	1,440	236	1,675	0.70	2,310	127	2,437	0.76	2,752	264	3,016	0.97
八幡平市	1,271	345	1,615	0.57	737	167	903	0.35	822	164	986	0.36
滝沢市	2,047	103	2,150	0.80	649	105	755	0.30	603	955	1,559	0.64
雫石町	741	502	1,243	0.45	829	134	962	0.36	1,346	205	1,551	0.63
葛巻町	538	2,160	2,699	1.06	518	53	571	0.22	524	36	560	0.23
岩手町	786	448	1,234	0.52	1,100	1,101	2,201	0.97	1,060	544	1,604	0.74
紫波町	3,641	2,716	6,357	2.00	2,597	524	3,120	1.03	3,639	700	4,339	1.41
矢巾町	2,271	108	2,379	0.73	1,713	639	2,353	0.74	4,091	414	4,504	1.53
西和賀町	1,421	0	1,421	0.48	923	0	923	0.35	590	0	590	0.22
金ヶ崎町	793	378	1,171	0.42	1,047	357	1,405	0.53	2,267	270	2,538	0.99
平泉町	3,505	639	4,144	1.86	1,118	2,851	3,970	1.28	9,403	398	9,801	3.13
住田町	4,142	205	4,347	1.41	2,053	863	2,916	0.92	6,197	471	6,668	2.36
大槌町	1,378	476	1,854	0.55	1,483	664	2,147	0.67	2,163	109	2,272	0.70
山田町	2,568	371	2,939	0.93	1,436	391	1,827	0.62	1,989	295	2,284	0.76
岩泉町	304	65	369	0.13	895	96	991	0.32	1,690	80	1,769	0.67
田野畑村	765	819	1,584	0.52	2,113	5,782	7,896	3.08	283	0	283	0.10
普代村	686	0	686	0.34	160	742	902	0.44	212	0	212	0.11
軽米町	698	80	778	0.36	655	12	667	0.33	1,334	207	1,541	0.79
洋野町	1,518	93	1,610	0.61	1,218	340	1,558	0.67	2,945	339	3,284	1.46
野田村	229	0	229	0.08	1,407	0	1,407	0.57	2,590	0	2,590	1.05
九戸村	511	19	530	0.24	1,192	0	1,192	0.58	925	18	943	0.44
一戸町	1,313	350	1,662	0.67	887	132	1,019	0.42	930	44	974	0.41
医師国保	599	0	599	0.47	172	0	172	0.14	363	40	402	0.35

出典「岩手県健康国保課 平成27年度診療報酬明細書点検調査実施結果」に基づき本会で作成

なっている。

財政効果額と財政効果率 3保険者で2年連続の成果

診療報酬明細書点検調査実施結果
(表3)の被保険者一人当たり財政効果

額を保険者別に見ると、34保険者中18保険者が前年度を上回り、一人当たり財政効果率でも15保険者が前年度を上回った。

また、2年連続で財政効果額と財政効果率が前年度を上回った保険者は、

一関市、西和賀町、一戸町の3保険者となっている。

このほか、新・国保3%推進運動で目標に掲げる「医療費適正化対策により、医療費の1%以上の財政効果を上げること」を達成した保険者は、大船

渡市、遠野市、葛巻町、紫波町、平泉町、住田町の6保険者(前年度6保険者)で、大船渡市と平泉町は5年連続の達成となった。

保険者の厳しい財政状況 に対応し引き続き支援

以上がレセプト点検調査結果の概要となるが、市町村国保では被保険者の高齢化が進み医療給付費が高く、低所得者が多いことから、保険料負担が重いという構造的な問題を抱え、厳しい財政運営が続いている。

このような中、国による27年度市町村国保財政状況の速報値によると、市町村国保の実質収支は2843億円の赤字となった。

一方で、国保制度の安定のため、平成30年度からは都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営をはじめ、国保運営に中心的な役割を担うこととされており、市町村では健全な財政運営のため、レセプト点検等による継続した医療費適正化対策が重要となっている。

本会では、このような状況を踏まえ、審査事務共助支援システムの運用によるシステムチェックの精緻化と審査委員が専門的な医学的判断に専念できるような体制の整備を図り、レセプト審査の充実と効率化に努めるほか、第三者行為求償事務の受託範囲を一部拡大し加害者直接請求を実施するなど、引き続き保険者を支援していく。

29年度事業計画を決定 医療保険者間での連携を確認

平成28年度(第2回)岩手県保険者協議会

岩手県保険者協議会(会長・高橋昌造矢巾町長)は3月7日、国保会館で28年度第2回の会議を開催した。会議には医療保険者などを代表する委員11人が出席し、28年度事業推進状況などが報告されたほか、4項目を柱とする29年度事業計画などを協議した。

冒頭、高橋会長は「本日は、28年度事業推進状況や29年度事業計画など、皆さまの助言をいただきながら協議したい」とあいさつした。

その後、高橋会長を議長に選出して協議した28年度事業推進状況では、特定健診等集合契約の締結や地域医療構想調整会議への参加状況、28年5月診療分の国保レセプトデータによる疾病統計冊子を作成したことなどが報告された。

次に、29年度事業計画では、①機関会議の開催②データヘルス推進等に係る事業の推進③特定健康診査等に関する事業の推進④医療計画及び医療費適正化計画等への関与の4項目を柱とする事業の推進が提起され、中でも④では、医療費適正化計画作成段階において、実施に関して岩手県からの要請により各医療保険者への状況調査に協力するとした。

また、厚労省から一層の推進が求められている「保険者間で特定健診情報データの移動を行う場合の一定のルー



医療計画及び医療費適正化計画等への関与など4項目を柱とする29年度事業計画を承認した

ルづくり」を当面の取り組み課題とすることなどが承認された。
出席した委員からは、「医療保険者間のほか、県や関係機関と一体となった県民の健康づくり事業を進めることが重要になる」などの意見が出された。

29年度保険者支援方法を協議 1保険者に助言も実施

平成28年度(第5回)岩手県国保連合会保健事業支援・評価委員会

本会は3月9日、国保会館で保健事業支援・評価委員会(委員長・坂田清美岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座教授)を開催した。委員会には委員5人が出席し、29年度の保険者支援方法などを協議したほか、岩手県医師国保組合が策定したデータヘルス計画案に対する助言が行われた。

坂田委員長のあいさつの後、坂田委員長を座長に選出し、29年度の保険者支援方法を協議した。

支援方法については、①国保・後期高齢者ヘルスサポート事業説明会の開催②研修会の開催③データヘルス計画策定に係るヒアリング④データヘルス計画策定及び個別保健事業の評価に係る助言⑤事務局による支援の5つを柱として支援することを決定した。

次に、岩手県医師国保組合が策定したデータヘルス計画案への助言が行わ

れた。

同国保組合では、分析結果を踏まえ①がん検診の受診率向上②メタボ予防に向けた健康生活―を計画の目的とし、保健事業における肺がん検診の周知と禁煙に対する意識啓発を計画に盛り込んだ。

同国保組合から説明を受け、委員からは「健康課題として分析したものは、年度ごとに数字を入力しておく」と評価するときに比較しやすい。また、データヘルス計画の見直し時期と評価する時期を一覧表にすると分かりやすい」「これまでの特定健診・特定保健指導の結果によるメタボの割合に加え、保健事業から見た健康課題を整理すること、働きかけるターゲットを絞りやすくなる」などの助言があった。



29年度保険者支援方法を協議し、五点を柱として支援することを決定した



複雑な求償事務に対応する小野寺正孝顧問弁護士（前中央）と担当の（左から）熊谷主任、菅沼章・石母田昭彦両求償事務専門員

収納金額 1億9900万円

平成28年度第三者行為求償事務処理状況

今後も医療費適正化を支援

このような中、本会では県内全保険者から委託を受け、交通事故による第三者行為求償事務を実施して医療費適正化対策の円滑な推進を図っている。

保険者努力で請求金額増加

このほど取りまとめた28年度の第三者行為求償事務処理状況によると、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険の各制度で、交通事故による第三者行為求償を新規委任した保険者数は前年度から3保険者増加の29保険者、新規委任件数は7件増加の337件だったほか、請求件数は15件減少の722件となった。

また、請求金額は前年度から約4億62万円増加の約4億5600万円となった一方で、収納金額は前年度から減少に転じ、約7500万円減少の約1億9900万円となった。

国では、第三者行為求償事務の取り組みを今後の医療費適正化を進める上で重要な課題としており、28年4月には全国の市町村国保、国保組合、後期高齢者医療広域連合と損害保険団体との間で覚書が締結され、保険者に傷病届が着実に提出されるようになった。

また、これらの

取り組みを促進するため、保険者にインセンティブを設け、28年度から特別調整交付金の一部を活用した

「保険者努力支援制度」を前倒しで実施している。

請求金額が増加したのは、第三者行為による交通事故の発見や対象レセプトの点検を行う保険者の努力が大きい。一方、28年度の収納金額が減少したことは、年度をまたがって処理する事案が多数あることが一因と考えられる」と分析した。

本会では、引き続き収納の早期化に向け保険会社との適正な過失協定を図

平成28年度 第三者行為求償事務処理状況

（国保、後期高齢、介護の合計）
単位：千円

保険者名	新規委任件数	請求		収納	金額	保険者名	新規委任件数	請求		収納	金額
		件数	金額					件数	金額		
盛岡市	24	38	19,662	30	10,679	住田町	1	0	0	0	0
宮古市	4	12	1,240	10	2,795	大槌町	5	7	1,546	6	843
大船渡市	6	16	9,558	1	160	山田町	2	8	3,857	5	1,507
奥州市	26	51	11,627	40	8,022	岩泉町	0	1	5	0	0
花巻市	20	40	20,785	36	11,830	田野畑村	0	0	0	0	0
北上市	14	36	16,834	25	7,125	普代村	0	0	0	0	0
久慈市	1	1	25	0	0	軽米町	1	2	715	2	755
遠野市	6	7	696	4	147	洋野町	1	1	18	1	4
一関市	13	26	5,298	25	13,847	野田村	0	0	0	0	0
陸前高田市	1	3	1,897	4	2,424	九戸村	0	0	0	0	0
釜石市	2	15	8,417	10	2,048	一戸町	2	6	1,424	7	2,876
二戸市	1	4	3,527	5	1,448	医師国保組合	0	0	0	0	0
八幡平市	2	5	527	5	686	後期高齢者広域連合	179	380	317,865	265	114,586
滝沢市	6	12	4,462	12	7,381	二戸地区広域行政事務組合	0	0	0	0	0
雫石町	3	5	2,238	3	1,979	盛岡北部行政事務組合	1	2	154	2	154
葛巻町	0	0	0	2	635	久慈広域連合	1	5	5,169	0	0
岩手町	4	9	4,850	6	697	一関地区広域行政組合	0	1	466	2	1,041
紫波町	6	16	5,012	15	3,623	市計	126	266	104,553	207	68,591
矢巾町	2	5	4,000	1	30	町村計	30	68	27,955	54	14,589
西和賀町	1	1	2,409	0	0	広域連合・行政組合計	181	388	323,655	269	115,781
金ケ崎町	0	2	1,350	3	1,249	合計	337	722	456,163	530	198,961
平泉町	2	5	530	3	393	平成27年度合計（前年度）	330	737	407,544	715	274,340

○二戸地区広域行政事務組合（二戸市、軽米町、九戸村、一戸町） ○一関地区広域行政組合（一関市・平泉町）
○盛岡北部行政事務組合（八幡平市・葛巻町・岩手町） ○久慈広域連合（久慈市・洋野町・野田村・普代村）
※千円未満四捨五入のため、金額合計の額と合計欄の金額は一致しません

るなど、保険者の医療費適正化を支援していく方針であり、29年度は取り組み強化の一環として受託範囲を一部拡大し、任意保険未加入で自賠責保険の限度額を超過した案件について、加害者直接請求を実施していく。

研修会や弁護士相談を開催

今後、本会では市町村の担当者などを対象とした第三者行為求償事務初任者（医療保険担当）研修会を5月11日に国保会館で開催するほか、6月には第三者行為介護保険担当者研修会、7月には第三者行為求償事務担当者（医療保険担当）研修会の開催を予定して

いる。また、第三者行為求償に係る諸問題の解決に向け、本会では顧問弁護士による弁護士相談を毎月1回開催しているほか、保険者からの要請に応じた巡回弁護士相談にも対応しており、本会総務課の活用を呼び掛けている。

平成29年度 交通事故弁護士相談予定日
（会場：国保会館 13時～16時）

年月	日
29年5月	17日（水）
6月	13日（火）
7月	12日（水）
8月	18日（金）
9月	13日（水）
10月	18日（水）
11月	15日（水）
12月	13日（水）
30年1月	17日（水）
2月	14日（水）
3月	14日（水）

※相談の際は、事前にご連絡と参考資料等の送付をお願いします。

担当：総務課事業係
TEL 019-653-8114
FAX 019-604-6701

「新・国保3%推進運動」の取り組み状況

平成10年度から取り組んでいる「国保事業充実強化推進運動（新・国保3%推進運動）」は、①収納率向上対策②医療費適正化対策③保健事業対策の財政効果を各1%向上させることへの3項目を目標に、現在も取り組みが続けられている。この新・国保3%推進運動における本県の取り組み状況を岩手県からの情報提供に基づいた平成27年度国民健康保険事業状況を活用して紹介する。

新・国保3%推進運動は、左表のとおり①収納率向上対策②医療費適正化対策③保健事業対策となっており、各1%の財政効果を上げることが目標とし、その合計が3%となることからこの通称で呼ばれている。

収納率対策達成は6市町

平成27年度の国保保険料(税)収納率の状況(表1)では、県全体(医師国保組合含む)で93・40%となり、前年度から0・47%上昇したほか、市町村も0・43%上昇し、93・19%となった。

収納率は23年度以降、毎年上昇を続けており「岩手県国民健康保険広域化等支援方針」に基づき、保険者が前年度の成果を上回るよう努めた結果が表れた。

また、前年度と比較すると、収納率が向上した保険者(表4・①)は34保険者中17保険者となり、そのうち前年度から収納率を1%以上引き上げた保険者は、盛岡市、宮古市、二戸市、平泉町、大槌町、大船渡市、遠野市、葛巻町、紫波町、平泉町、住田町、盛岡市、宮古市、花巻市、北上市、釜石市、葛巻町、岩手町、矢野町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、岩手町、洋野町、医師国保、住田町、大槌町だった。

6保険者で財政効果向上

次に、保険者が実施するレセプト点検などで、国保医療費の1%以上の財政効果を上げる財政効果率の状況(表2)では、県全体で0・70%となり、前年度より0・02%減少した一方、町村では0・12%上昇し、0・82%となった。なお、27年度の財政効果率は県全体で約6・1億円となっている。

また、前年度と比較すると財政効果率が向上した保険者(表4・②)は15保険者で、県内の4割を超える保険者が

新・国保3%推進運動目標

収納率向上対策

保険料(税)の収納率を1%以上引き上げること

医療費適正化対策

医療費の1%以上の財務効果を上げること

保健事業対策

保健事業費として保険料(税)の1%以上を確保すること



国保イメージキャラクター「ハビルス」くん

4年連続県全体で1%超

上昇しており、1%以上の財政効果を上げたのは6保険者だった。

地域住民組織の活動など、保険事業の推進に向けた保健事業費を保険料収納額の1%以上確保する保険料(税)に占める保健事業費率の状況(表3)では、県全体で1・30%となり、前年度から0・12%上昇したほか、4年連続で目標の1%を上回った。

また、前年度と比較すると、保険事業費率が上昇した保険者(表4・③)は20保険者で、1%以上の運動目標は14保険者が達成した。

なお、今回、新・国保3%推進運動の3項目全ての目標を達成した保険者は、平泉町であった。

(表1) 国保保険料(税) 収納率の状況

(単位: %)

	保険料(税) 収納率 (現年度)				
	27年度(前年度比)	26年度(前年度比)	25年度(前年度比)	24年度(前年度比)	23年度(前年度比)
県 計	93.40 (+0.47)	92.93 (+0.42)	92.51 (+0.30)	92.21 (+0.71)	91.50 (+0.73)
市町村計	93.19 (+0.43)	92.76 (+0.42)	92.34 (+0.31)	92.03 (+0.73)	91.30 (+0.73)
市 計	92.64 (+0.50)	92.14 (+0.58)	91.56 (+0.37)	91.19 (+0.72)	90.47 (+0.61)
町 村 計	95.41 (+0.12)	95.29 (+0.37)	94.92 (+0.08)	94.84 (+0.76)	94.08 (+1.34)

出典「岩手県健康国保課 平成27年度事業状況報告第8表」に基づき本会で作成

(表2) 財政効果率の状況

(単位: %)

	財 政 効 果 率				
	27年度(前年度比)	26年度(前年度比)	25年度(前年度比)	24年度(前年度比)	23年度(前年度比)
県 計	0.70 (-0.02)	0.72 (+0.00)	0.72 (+0.07)	0.65 (-0.02)	0.67 (+0.05)
市町村計	0.70 (-0.03)	0.73 (+0.01)	0.72 (+0.07)	0.65 (-0.02)	0.67 (+0.05)
市 計	0.67 (-0.06)	0.73 (+0.09)	0.64 (+0.07)	0.57 (-0.09)	0.66 (+0.03)
町 村 計	0.82 (+0.12)	0.70 (-0.34)	1.04 (+0.14)	0.90 (+0.18)	0.72 (+0.11)

出典「岩手県健康国保課 平成27年度診療報酬明細書点検調査実施結果」に基づき本会で作成

(表3) 保険料(税) に占める保健事業費率の状況

(単位: %)

	保険料(税) に占める保健事業費率の割合				
	27年度(前年度比)	26年度(前年度比)	25年度(前年度比)	24年度(前年度比)	23年度(前年度比)
県 計	1.30 (+0.12)	1.18 (+0.08)	1.10 (+0.00)	1.10 (+0.18)	0.92 (-0.09)
市町村計	1.14 (+0.11)	1.03 (+0.06)	0.97 (+0.01)	0.96 (+0.16)	0.80 (-0.09)
市 計	1.08 (+0.12)	0.96 (+0.05)	0.91 (+0.02)	0.89 (+0.13)	0.76 (-0.10)
町 村 計	1.41 (+0.11)	1.30 (+0.14)	1.16 (-0.02)	1.18 (+0.27)	0.91 (-0.07)

出典「岩手県健康国保課 平成27年度事業状況報告第6・8表」に基づき本会で作成

(表4) 平成27年度 新・国保3%推進運動の実施状況

区 分	保険者数	項 目	26年度より 上昇した 保険者数
①収納率向上対策	34	収納率を1%以上向上させた保険者数(26年度と比較)	6
②医療費適正化対策		1%以上の財政効果率を達成した保険者数	6
③保健事業対策		保険料(税)収納額に占める割合を1%以上確保した保険者数	14
		盛岡市、宮古市、二戸市、平泉町、大槌町、大船渡市、遠野市、葛巻町、紫波町、平泉町、住田町、盛岡市、宮古市、花巻市、北上市、釜石市、葛巻町、岩手町、矢野町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、岩手町、洋野町、医師国保、住田町、大槌町	20

平成29年度国保連合会事業予定

開催予定の会議名・開催場所・開催日をお知らせします

29年5月	会議名	開催場所	開催日
	国保・後期高齢者ヘルスサポート事業説明会	国保会館	8日(金)
	第三者行為求償事務初任者(医療保険担当)研修会	国保会館	11日(木)
	在宅保健活動者連絡協議会総会及び研修会	国保会館	18日(木)
	国保診療施設管理研究会幹事会	国保会館	26日(金)
	市町村放射線画像研究会総会及び研修会	国保会館	27日(土)
	電算処理システム運営協議会	国保会館	31日(水)
6月			
	国保事業充実強化推進協議会幹事会	国保会館	5日(月)
	国保地区協議会事務局長会議	国保会館	5日(月)
	第三者行為求償事務介護保険担当者研修会	国保会館	8日(木)
	保健推進委員等代表者協議会役員会	盛岡市都南文化会館	14日(水)
	保健推進委員等代表者協議会総会及び研修会	盛岡市都南文化会館	14日(水)
	地域医療研究会役員会	国保会館	24日(土)
	地域医療研究会総会及び春季集會	国保会館	24日(土)
	介護保険業務担当者研修会	国保会館	未定
	市町村国保担当職員・収納担当職員合同研修会	国保会館	27日(火)
	国保給付担当者事務研修会	国保会館	28日(水)
	国保・後期高齢者ヘルスサポート事業説明会	国保会館	30日(金)
7月			
	岩手県国保連合会監事会	国保会館	5日(火)
	地域医療研究会歯科研修会	一関市	8日(土)～9日(日)
	岩手県国保連合会役員会	国保会館	10日(月)
	第三者行為求償事務担当者研修会	国保会館	20日(木)
	市町村職員臨床・衛生検査技術者協会幹事会及び総会並びに研究会	国保会館	22日(土)
	岩手県国保連合会通常総会	国保会館	29日(金)
8月			
	市町村放射線画像研究会夏季研修会	国保会館	未定
	地域医療研究会現地研究会	宮古市	19日(土)～20日(日)
	岩手県国民健康保険フォーラム	盛岡市小田島総合ホール	24日(木)
9月			
	市町村保健事業担当者研修会	国保会館	6日(水)
	市町村保健推進委員等研修会	国保会館	29日(金)
10月			
	市町村等介護保険相談・苦情処理業務担当職員研修会	国保会館	未定
	国保診療施設管理研究会	国保会館	未定
	市町村等介護保険相談・苦情処理業務担当職員研修会	国保会館	未定
11月			
	地域医療研究会秋季集會	国保会館	18日(土)
	中央実行運動	東京都	30日(木)
	電算処理システム運営協議会	国保会館	未定
	在宅保健活動者連絡協議会役員会	国保会館	未定
	市町村国保・介護保険・障害者総合支援主管部(課)長会議	国保会館	未定
12月			
	国保診療施設の医師確保に関する要請運動	岩手県庁	未定
	市町村医師養成協議会運営委員会	国保会館	未定
	保険料(税)適正算定マニュアル研修会	国保会館	未定
30年1月			
	国保診療施設運営連絡協議会幹事会	国保会館	未定
2月			
	岩手県国保連合会役員会	国保会館	未定
	岩手県国保連合会通常総会	国保会館	未定
	国保診療施設運営連絡協議会総会	国保会館	未定
	国保地区協議会事務局長会議	国保会館	未定
	地域医療研究会役員会	国保会館	未定
	市町村職員臨床・衛生検査技術者協会幹事会	国保会館	未定
	市町村医師養成協議会運営委員会	国保会館	未定
3月			
	地域医療研究会歯科部会	国保会館	未定
	在宅保健活動者連絡協議会役員会	国保会館	未定
	市町村放射線画像研究会幹事会	国保会館	未定

随時開催	開催場所	開催日
保険者協議会	国保会館	—
介護保険業務推進委員会	国保会館	—
障害者総合支援法関係業務等運営協議会	国保会館	—
第三者行為求償事務の協力	地区協	—
レセプト点検の支援	市町村	—
保健活動の支援	該当市町村	—
国保事業充実強化推進運動	該当市町村	—
保健事業支援・評価委員会	国保会館	—

岩手県国保運営委員協議会関係	開催場所	開催月日
通常総会	国保会館	5月20日(金)
研修会	国保会館	5月20日(金)

東北地方国保協議会関係	開催場所	開催月日
東北地方国保運営協議会代表者連絡協議会	盛岡市	7月13日(木)～14日(金)
東北地方国保診療施設協議会連絡協議会	盛岡市	9月15日(金)
東北地方在宅保健師等会連絡協議会	秋田市	12月7日(木)～8日(金)

国保中央会関係	開催場所	開催月日
全国市町村国保主管課長研究協議会	東京都	8月25日(金)
第34回「健康な町づくり」シンポジウム	東京都	8月24日(木)
国保制度改善強化全国大会	東京都	11月30日(木)
平成29年度全国国保運営協議会会長等連絡協議会	東京都	2月

全国国保診療施設協議会関係	開催場所	開催月日
第57回全国国保地域医療学会	東京都	9月20日(水)～21日(木)
第31回国保診療施設協議会地域医療現地研究会	福井県	5月19日(金)～20日(土)
国保直診口腔保健研修会	東京都	9月20日(水)
国保診療施設者協議会長・都道府県協議会長・協議会設置都道府県国保連事務局長合同会議	東京都	2月
地域包括医療・ケア研修会	東京都	1月19日(金)～20日(土)



国保診療施設の関係者など約150人が出席した地域医療研究会「秋季集會」(28年11月)



健康寿命の延伸に向け正しいラジオ体操の実技研修が行われた「第38回市町村保健推進委員等研修会」(28年9月)

スムーズな本稼働を目指し

国保情報集約システム等に係る市町村国保担当者説明会

本会は3月23日、国保会館で国保情報集約システム等に係る市町村説明会を開催し、市町村の担当者など約50人が出席した。

本会が運用する「国保情報集約システム」は、市町村ごとに保有する資格情報等を都道府県単位で集約し、被保険者が同一都道府県内で転居した場合、高額療養費の多数回該当に係る該当回数を引き継ぐなど、市町村間の情報連携等を支援するものとなっている。

説明会では、本会の担当者が被保険者

の情報管理、高額該当情報の引き継ぎに関する機能、外部インタフェース仕様と設定例、本稼働前と本稼働後の市町村との契約手続きの相違点のほか、個人情報取り扱いについて説明した。

さらに、運用テストは6月と12月の2回、それぞれテストデータと実データを用いて実施する予定とし、自庁システムの改修や4月25日リリースの異動データチェックツール（更新版）によるデータ精査の実施など、今後の準備作業について適切な対応を依頼した。

歯科研修会 一関市で7月開催予定

岩手県地域医療研究会「歯科部会」

地域医療研究会は3月18日、国保会館で歯科部会（部会長・内記恵町立西和賀さわうち病院歯科科長）を開催した。

会議には国保診療施設に勤務する歯科医師7人が出席し、内記歯科部会長のあいさつの後、内記歯科部会会長を座長に選出し、28年度事業報告や29年度事業計画を協議した。

この中で、29年度事業計画の実施事項として研究集会・研修会の開催などが提起され、歯科医師や関係職員の相互研さんを目的とする研修会を、7月8日～9日に一関市国保千厩歯科診療所で開催することを決定した。

出席者からは「歯科技工士や歯科衛生士が、多くのことを学べるような研修会にしたい」などの意見が出され、研修会では講演のほか、全体会として、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士・事務による研究発表や活動報告を行う予定とした。



28年度事業報告や29年度事業計画を協議した

5月の行事予定

5月8日	国保・後期高齢者ヘルスサポート事業説明会	(国保会館)
11日	第三者行為求償事務初任者（医療保険担当）研修会	(国保会館)
16日	国保情報集約システムに係る市町村説明会	(国保会館)
17日	交通事故弁護士相談	(国保会館)
18日	岩手県在宅保健活動者連絡協議会「総会・研修会」 柔整審査会 再審査部会	(国保会館) (国保会館) (国保会館)
19日	岩手県国保運営委員協議会「総会・研修会」 審査委員会（～24日）	(国保会館) (国保会館)
23日	新任国保担当者操作研修（～24日）	(国保会館)
25日	介護給付費等審査委員会	(国保会館)
27日	市町村放射線画像研究会「総会・研修会」	(国保会館)

保険者へのレセプト公開日は5月8日です

なお、国保情報集約システムは平成30年4月に本稼働の予定となっており、本会でもスムーズな稼働に向けて準備を進めていく。



国保情報集約システムの各種機能などが説明された

編集後記

公民館などでは、昔懐かしい竹馬や竹とんぼを作って子どもたち

ちに遊ばせる講座が開かれています。ただ、せっかく作った竹とんぼなどで遊び続ける子どもは多くないようで、本来と違う方法で遊び始めるのが常のようです。「だるまさんが転んだ」が大好きだという子どもたちも、ルールは全く無視で繰り返しやり続けるとのこと▼絵本を読んでも、子どもたちは面白くないところを次々と飛ばしてしまい、話の筋が通らなくなることもしばしば。公園にある滑り台などの遊具は、階段を上らず危ない方法で上に行こうとして走り回ります▼このような子どもたちに付き合う大人はひと苦労ですが、「子どもを遊ばせてやっている」という上から目線ではなく「子どもに遊んでもらっている」と意識を変え、正しい遊び方などお構いなしに、子どもが喜んでいるのならそれでよいと思う。今日この頃です。（熊谷）